

笠松町にEV贈る

松波病院 名誉院長 「健康増進に役立てて」

松波総合病院名誉院長の松波英一さん(92)が1日、笠松町へ電気自動車(EV)1台(300万円相当)を

寄贈した。松波さんは一昨年12月、町の名誉町民に選ばれた。お礼の意味を込め、子育て



電気自動車を寄贈した松波英一さん(左)
＝笠松町田代、松波総合病院

支援、公衆衛生の推進に役立ててもらおうと贈った。町は赤ちゃん訪問や各種の健診、訪問指導にEVを活用する。

同町田代の同病院玄関前で寄贈の式典があり、松波さんが古田聖人町長に目録を手渡した。同席した運営法人の松波英寿理事長は「町民の健康増進に役立ててほしい」と願った。

感謝状を手渡した古田町長は「松波総合病院の礎を作られた功績は偉大だ」と語り、コロナ禍で感染症治療に尽力した病院に感謝した。(三輪真大)